

はじめに

「協働」。

私たちが、社会や地域の課題に取り組もうとする時には、どんな立場でも、必ずといっていいほどこの言葉が用いられるようになりました。もはや、みんなが安心して暮らせる社会を築く上で、欠かすことのできないキーワードといってよいでしょう。しかも、このことは、なにも佐賀市に限った話ではありません。全国的、さらには世界的な流れなのです。

それほど重要なキーワードであるのに、まだまだ「協働」について不安や疑問を感じている人は多いようです。また、「協働」という言葉自体、よく理解されていないのが実情です。

「協働」とは「協力して働くこと」、漢字を分解して読み解けば「3つの力を足して人が動くこと」という解釈もできます。しかし、その文字面だけでは読み解けない考え方や進め方のポイントがあり、それゆえに、わかりにくくなっているのかもしれません。

そこで、少しでも皆さんの「協働」に対する理解を広げ深めていくために、佐賀市では平成21年3月に「佐賀市『参加と協働をすすめる指針』」を策定し、啓発活動を積極的に行っているところです。

ただ、指針自体もやや難しいところがあるため、さらに理解と実践を進めていただくためには、もっと現場に役立つような副読本も必要という考えから、市役所担当課とNPOのメンバーで議論を重ねながら、この冊子の発行に至りました。そのネーミングも、協働に対する力をつけよう、という願いを込めて、「協働力本（きょうどうちからほん）」としました。

しかし、課題解決に「協働」でチャレンジするのは、残念ながら、“本を読めば大丈夫”というものではありません。「協働」の取り組みは、王道のようなマニュアルもなく、課題に応じてケースバイケースという側面があります。何より、「やってみよう」という姿勢や「やってみた」という経験があってこそ、はじめて理解も深まるものでしょう。

この「協働力本」が、考え方や方向性を示す「佐賀市参加と協働をすすめる指針」とともに、そのようなチャレンジを起こす一助として役に立てていただけることを願っています。

佐賀市役所 市民生活部 市民活動推進課

特定非営利活動法人 **ふくおかNPOセンター**